



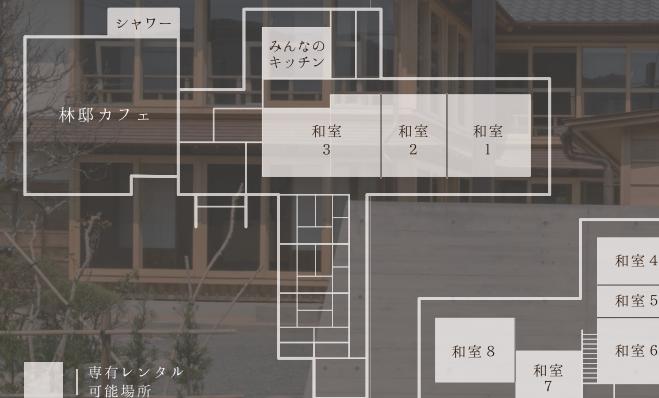
宿毛まちのえき
林邸

ご利用案内

開館中はどなたでもご自由にご入館いただけます。
専有希望の場合は下記の通り部屋毎にレンタル可能です。



みんなのキッチン 和室



宿毛まちのえき
林邸

営業時間 9:00~17:00
(休館日: 月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3)



土佐くろしお鉄道宿毛線
東宿毛駅より徒歩15分

車でお越しの方
高知市より車で約2時間40分
松山市より車で約2時間50分

〒788-0001 高知県宿毛市中央3-1-3

TEL: 0880-79-0563 MAIL:hayashitei@md.pikara.ne.jp

<http://www.city.sukumo.kochi.jp/hayashitei/index.html>

場所	広さ	料金
みんなのキッチン	6畳	1時間 500円
和室1	10畳	
和室2	8畳	
和室3	14畳	
和室4	6畳	1時間 300円
和室5	4畳	
和室6	8畳	
和室7	4畳半	
和室8	8畳	

設備	料金
屋外シャワー	1回 100円
冷暖房(和室及びキッチンスペース)	1時間 100円/1室



写真: 滝川敏(2・3・4・5頁) / 早稲田大学古谷誠章研究室(1・6・7・8頁)
製作: 早稲田大学古谷誠章研究室



近代日本の政治を支えた 特徴的な空間

当時の政治家支援者の集いの場だった林邸には、連続する大きな座敷や、客座敷・宴席のための「月見の間」の他にも、刺客に備える見張り番が控える正面玄関上の「見張り部屋」や、一階と二階をつなぐ隠し梯子など、独特の機能を多彩かつ優美に盛り込んだ建築となっています。また、これだけの規模の歴史的な住居建造物は宿毛市内ではもちろんのこと、高知県内にも残されておらず、地域の記憶装置としても重要な役割を担っています。

歴史と記憶を未来へ継承する 住民活動の場へ

平成二九年（二〇一七）に早稲田大学建築学科古谷誠章研究室によるワークショップが開催され、貴重な歴史や地域の記憶を未来へと継承するために地域住民の意見が集められました。単に昔の姿を保存・復元するだけではなく、地域の人たちの活動や歴史が今後も紡がれていく場所として生まれ変わることになりました。



歴史的価値を持ちながらも 市民に親しまれた林邸

林家は近代日本で初めて、林有造、譲治、道と三代続けて大臣を輩出し、親類の吉田茂、竹内明太郎らと共に近代日本の発展をリードした一家です。

林邸は林有造の邸宅として明治二十二年（一八八九）に建設されました。以来一三〇年に渡り、自由民権運動の系譜を連綿と引き継ぐ邸宅として親しまれてきました。この度、林邸は宿毛市へ寄贈され、より開かれた場として再生されることになりました。

01 — 林邸案内絵図

02 — みんなのキッチン

03 — 座敷

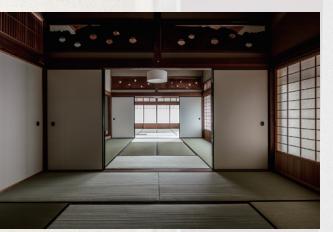
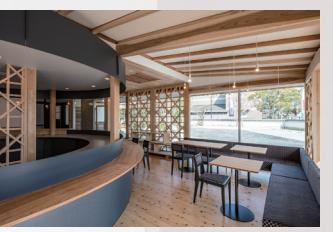
04 — 資料室

円形キッチンを囲みながら光に溢れた空間で飲食を楽しむことができます。

大人から子供まで皆で楽しめるレンタルキッチンスペース。南庭に出て屋外と一緒に使うことができます。

大きく座敷を使った懇親会や、お茶会など様々な活動の拠点として生まれ変わりました。

林家と林邸や周辺史跡などに関する資料を庭を眺めながらゆったりとご覧いただけます。



林邸案内絵図

生まれ変わった林邸の各室の所縁、見どころをご紹介いたします。
あなたの好きな場所、居心地の良い場所はどこですか？

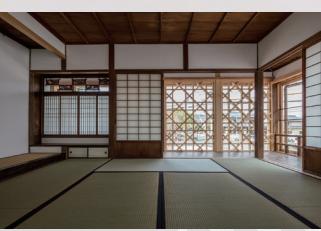


05 — 見張り部屋



政治家の部屋。玄関を見下す者をここで見張つて審問されていたと言われています。

06 — 月見の間



明治期には東側の松田川と月を愛でながら宴会ができる部屋として使われていました。



政治家の家ならではの部屋。玄関を見下す者をここで見張つて審問されていたと言われています。

月見の間

